

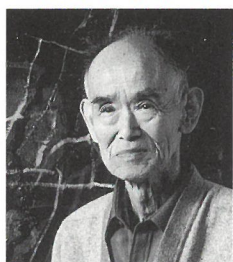
戦前戦後を見つめた大朝の画家

小田丕昭展

会期 2019年3月9日（土）～18日（月）

時間 10時～17時 会場 筏津芸術村ギャラリー

入場料 大人300円 高校生以下無料



この国の動乱期を生き延びた郷土の画家、小田丕昭（1910～2003）が遺した作品群を、この度オープンする筏津芸術村ギャラリーで展示します。命への慈しみ、それを破壊するものへの悲しみと怒り、己の罪深さへの懺悔、そして平和への祈り。人間愛に貫かれた作家の姿勢は、大胆で明快な構成力にも現れています。作品から聴こえて来る温かく慈愛に溢れる声は、今を生きる私達に何を語りかけてくれるのでしょうか。ぜひご覧ください。



「毛虫の巣」1940 116.7×90.9



「流灯原爆忌」1996 92×150

ギャラリートークのご案内

3月10日（日）11時～11時40分

丕昭さんの作品について、丕昭さんの教え子で画家のお二人をお迎えしてトークさせていただきます。

★清水馨（洋画家・無所属）

★福長弘志（二紀会委員・二紀会広島支部長）

ワークショップのご案内

3月9日（土） 13時30分 ①

3月16日（土） 10時30分 ②

3月10日（日） 13時30分 ②

3月17日（日） 10時30分 ①

①みんな丕昭さん！ちぎってはって表現しよう ★絵手紙作家 入澤良枝

②きみの太陽はどんないろ？木版で表現しよう ★木版作家 島田愛子

※ 所要時間 1時間程度 参加費1500円 予約不要 1回定員6名

※この企画展覧会は、きたひろ応援ファンド事業により、みなさまからの寄付金で開催させていただくことになりました。心よりお礼を申し上げます。